

「地理教育の道具箱」のリニューアル ～教育現場の声に答える～

令和元年 7月22日
国土地理院
応用地理部 地理情報処理課
栗栖 悠貴



本日のお話

- I .国土地理院のコンテンツを教育現場で活用するための課題
- II .教育現場で求められているもの
- III .「地理教育の道具箱」のリニューアルの特徴

高等学校学習指導要領解説や中学校学習指導要領解説に地理院地図をはじめとする**国土地理院のコンテンツの有効性**が示されている。

教育現場で活用するためには・・・

～地理教育支援検討部会の委員の指摘～

①教育関係者に知られていない

②授業で活用するための手法が知られていない

「何をどう使ったらいいのか」・「コンテンツを見つけやすく」₂

教育現場で求められているもの

無料でインストール不要のコンテンツ

地理院地図

授業ですぐ使えるコンテンツ

学習単元別
の整理

主題図の使い方
見つけやすさ

導入



展開



身近な地域

特徴①：対象の明確化・アクセシビリティの向上

地理教育の道具箱

地理教育の道具箱

- 地図・空中写真
 - ・教育現場で
 - ・日本全国
 - ・明治時代が
 - ・空中写真
- 日本の地形
 - ・山から海へ
- 国土の情報
 - ・都道府県市
 - ・地理に関する
- ネット
 - ・地形を切り
 - ・のデータ
 - ・地理院地図
- その他
 - ・地理教育の
 - ・の整理と
 - ・提言(案)
 - ・「地図と測量
 - ・校教育等
 - ・」
 - ・国土の防災
 - ・(国土交通省)
 - ・国土地理院
 - ・支援説明会

具体的なコンテンツの紹介

新着・更新情報

- 学生版「日本の地形」の記述が不正確ではないかのご意見が寄せられたため、確認・修正のためにー
- 明治時代からの地図(旧版地図)を閲覧、入手できます(10月19日)
- 空中写真の閲覧、ダウンロードができます(10月19日)
- 地理院地図で白地図を表示・印刷する方法ー行政区のみの白地図を印刷できますー(8月5日)
- 基盤地図情報から白地図を作成する方法ー道路のみの白地図データを出力できますー(7月25日)

新着情報

トピックス

- 今年も「教科書・教材出版社向け説明会」を開催(平成29年7月19日)

イベント情報

本ページをはじめ、国土地理院ウェブサイトで公開している画像、図表、文字等の情報は、国土地理院コンテンツ利用規約に従って自由に利用できます。

<http://www.gsi.go.jp/kikakuchousei/kikakuchousei40182.html>

また、基本測量成果(地図、空中写真等)についても、学校などで利用する場合は申請は不要です。

<http://www.gsi.go.jp/LAW/2930-index.html>

利用上の注意



PDF形式のファイルをご覧いただく場合には、Adobe Readerが必要です。Adobe Readerをお持ちでない方は、以下のページからダウンロードしてください。
[Adobe Reader ダウンロードページ\(新規ウインドウ表示\)](#)

リニューアル前の「地理院地図の道具箱」

特徴①：対象の明確化・アクセシビリティの向上

地理教育の道具箱

地図や地理、防災を学びたい方、教育関係の方々向けに、国土地理院のコンテンツやツールについて紹介するページです。

子どもから大人まで
地図で学ぶ防災ポータル

入口はこちら

教育関係者は是非
地理教育支援コンテンツ

入口はこちら

教科書出版社や学生は是非
説明会やサマースクールのご案内

測る
描く
守る

入口はこちら

目次

地図で学ぶ防災ポータル	地理教育支援コンテンツ	説明会やサマースクールの案内
<ul style="list-style-type: none"> ・災害から逃げる ・災害に備える ・災害から学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校3・4年生 ・小学校5年生 ・中学生 ・高校生 ・地域の調査や探求 ・もっと地図を使う 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書・出版社への説明会 ・学生向けの情報のご案内

リニューアル後の「地理院地図の道具箱」

特徴②：学習単元別の整理

地理教育支援コンテンツ

学習単元ごとに、おすすめのツールやコンテンツについて紹介します。

小学低学年 4年生	小学高学年 5年生	中学生	高校生
身近な地域(学校のまわり) ・みんなの計画をつくる(簡易白地図) ・みんなの学びをかたどる整理する ・記号を載せた地図をみる → 地図には記号がいろいろ(PDF形式: 4.9MB) ・どんな地図記号があるか調べよう → いろいろな地図記号	日本の国土 ・世界のなかの日本 ・日本の国土の広がり 日本の地形 ・日本の高低による低地と高台をみる	日本の地形 災害を理解するための基礎となる土地の成り立ち ・火山 ・山地・丘陵 ・扇状地 ・低地帯 ・沿岸低地 ・三角州 ・リアス式海岸	地理総合 地図・GISの活用(地理院地図の使い方) → 地理院地図の機能紹介 → 統計情報の表示について ・地図・GISの活用(地理院地図の目的別マニュアル) → 地理院地図 ヘルプ(目的別詳細マニュアル) ・防災学習への地図・GISの活用(被災状況の空中写真・UAVによる動画) → 地理院地図で見る ・過去の自然災害のようすをみる ・地図を防災に活かす(1)(PDF形式: 3.9MB) ・地図を防災に活かす(2)(PDF形式: 3.7MB) ・地図を防災に活かす(3)(PDF形式: 3.5MB)
身近な市町村 ・町の様子を空から眺める	自然災害の防止 ・UAVドローンで災害入りと学ぶ ・地域に伝わる災害の記録(動画)	日本の自然災害 ・地震 ・風水害 → 洪水 → 河川災害	防災 ・洪水入りを考える → 地形から学ぶ危険性・洪水編 ・津波入りを考える → 地形から学ぶ危険性・津波編
身近な都道府県 ・都道府県と都道府県庁所在地 ・全国の都道府県や市区町村別の国境		地域の調査や探求 ・いろいろな地図や空中写真を地図調査に活かす	
		もった地図を使う ・等高線から地形判断をつくる(PDF形式) 挿入素材 ・地形を切り口とした学習のための資料集 ・地形を切り口とした地理教育素材集(地理院地図) ・日本の主な山岳高度や深沼などの奇景地理に関する奇景 ・地理に関する啓蒙 いろいろな古い地図 ・古地図コレクション いろいろな地理空間情報(地図や空中写真や動画などを調べる ・地理空間情報スクリュー 南極や月の地図 ・南極の地理空間情報 ・月の地形図	



「地理教育の道具箱」のリニューアルの特徴

特徴③：ストーリー性・主題図の活用紹介

排他的領土
領土 領海 経済水域 公海

○領海
海岸線(低潮線)から12海里(約22km)の範囲

○排他的経済水域
海岸線(低潮線)から200海里(約370km)までの範囲のうち領海を含まない範囲

豆知識
領海や排他的経済水域の考え方は、国連海洋法条約(正式:「海洋法に関する国際連合条約」)で世界共通。

日本には島国って聞いたけどどこまでが日本だろう?

日本の国土全域を1枚で表した地図があるんだ。東西南北それぞれの端がどこにあるのか、国境はどこか一目でわかるよ。

周辺の国との位置関係がよくわかるね。

ワンポイントアドバイス

えとろろとろ おきのどろしま みなみどろしま よねぐにこま
 最北端: 択捉島 最南端: 沖ノ島 最東端: 南鳥島 最西端: 与那国島

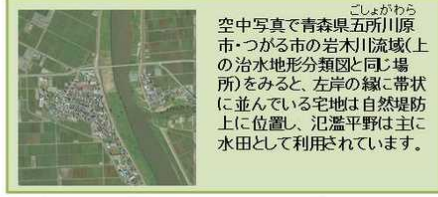


特徴③：ストーリー性・主題図の活用紹介



自然堤防ってどういふものか知ってる？

洪水の時に上流から運ばれてきた石や砂が川のまわりに積もってきた土地のことだよ。



空中写真を見ると、自然堤防の上に宅地がたくさんあるわ。どうして？

周辺よりやや高く、生活水も得やすいので、昔から住宅地などに使われていることが多いんだ。

ワンポイントアドバイス
典型的な自然堤防がどこにあるかは、「日本の典型地形」で調べることができるよ。

色別標高図を見る

検索窓に学校名を入れて身近な地域も見よう

典型的な自然堤防を調べる

日本の典型地形から他地域の自然堤防も調べてみよう

解説
自然堤防の特徴を学ぶ

もう少し詳しく自然堤防について知ろう

特徴③：ストーリー性・主題図の活用紹介

先人からのメッセージ 自然災害伝承碑

自然災害伝承碑と土地の成り立ち

遊んでいたら文字が刻まれた石を見つけたわ。

これは、自然災害伝承碑だね！過去に発生した自然災害について、災害の様子や被害状況など貴重な情報が、石碑やモニュメントとして伝えられているんだよ。「自然災害伝承碑」の情報を地図化すると地域の防災力の向上が期待されるんだ。

碑文内容(現代語訳)
(前略) 明治40年7月15日に大雨が降り、2本の川が氾濫した。氾濫は急激に起きたため、人々は逃げる暇がなかった。被害が大きかったのはそのため。雨がやみ、水が引いた後の河岸に家々はなく、一面見渡す限り土石流で埋め尽くされた。

掲載例
明治40年(1907)7月15日、故日来降り続いた豪雨により天地川や総瀬川で土石流が発生した。この未曾有の大災害により、小屋浦地区では43戸の家屋がつぶれ、44名の命が奪われた。

※ウェブ地図に掲載する情報は、碑文に記載された内容に、死者数や建物被害など被害の規模を示す情報を補足したものだ。

ここで昔災害があったんだ！自然災害伝承碑って昔災害があったことを伝えてくれるタイムカプセルみたいだね。

明治26年大洪水供養塔 (倉敷市真備町)
※提供：中国地方整備局

明治26年大洪水供養塔

明治26 (1893) 年旧暦9月、台風襲来により高梁川や小田川の堤防が決壊した。この大洪水による死者は2百余名と伝えられており、供養塔の頭部(矢印)は当時の水位を示している。

源福寺境内:岡山県倉敷市真備町
写真提供：中国地方整備局岡山河川事務所

旧河道 (浸水・液状化のリスク)

氾濫平野 (浸水・液状化のリスク)

赤枠：平成30年7月豪雨に伴う推定浸水範囲

平成30年7月豪雨で浸水被害があった地域には、災害履歴として自然災害伝承碑があって、先人の声が伝わっているよ。土地の成り立ちも合わせて考えてみようね。

地理院地図で身近な地域の自然災害伝承碑も探してみよう。どんな場所にあるかな？

地理院地図で
自然災害伝承碑
をみる

先人が伝える災害の教訓
自然災害伝承碑

特徴③：ストーリー性・主題図の活用紹介

「まさか、ここで災害が発生するなんて・・・」

「こんな災害、ここに住んで数十年間経験したことがない」

ニュースでこんな言葉聞いたことがあるけど、他人事ではないと思うの。

そのとおりだよ。後悔しないように、災害について一緒に学ぼう。

災害から逃げる

入口はこちら

災害に備える

入口はこちら

災害から学ぶ

おんこちしん
温故知新

入口はこちら

10

おわりに

地理院地図を授業で活用するためのコンテンツが充実！



「地理教育の道具箱」が少しでも地理教育の支援になれば幸いです。

すぐ使える「地理教育の道具箱」

<p>こどもから大人まで 地図で学ぶ防災ポータル</p> <p>入口はこちら</p>	<p>教育関係者は是非 地理教育支援コンテンツ</p> <p>入口はこちら</p>	<p>教科書出版会社や学生は是非 説明会やサマースクールのご案内</p> <p>測る 描く 守る</p> <p>入口はこちら</p>
--	---	--

目次

地図で学ぶ防災ポータル	地理教育支援コンテンツ	説明会やサマースクールの案内
<ul style="list-style-type: none"> 災害から逃げる 災害に備える 災害から学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校3・4年生 小学校5年生 中学生 高校生 地域の調査や探求 もっど地図を使う 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書・出版会社への説明会 学生向けの情報のご案内

ポイント

- ① 学習単元に応じたコンテンツを利用できる
- ② 地図で防災教育を学習できる
- ③ 地理院地図を活用した具体的な素材が豊富

「地理教育の道具箱」

URL : <http://www.gsi.go.jp/CHIRIKYOUIKU/index.html>

